

住職の写真日記より【令和2年11月】

今年の報恩講、規模は縮小にはなりましたが、それなりにお参りもありおかげさまで無事に勤めることができました。コロナの事もあったせいか1年があっという間に過ぎていったような気がします。これから本格的な冬に向かいます。どうぞ、お身体ご自愛下さい。



10/31 久々の起工式

檀家さんの娘さん家族からのご依頼。お祝いの法要はやはりうれしいですね、

1日 85歳を記念して

前坊守が永代経懸志として納めた広間の襖絵が完成しました。見に来てくださいね。

6日 報恩講中日のお参り

70名以上の参詣になりました。年に一度の報恩講、皆さん、熱心に聴聞されてました。



7日 住職よりお礼の言葉

今回は布教使様だけにお礼の言葉を述べました。来年は、いつも通りの報恩講を勤められるといいですね。

12日 坊守さんが導師

2月に住職さんが亡くなられたの京極・光寿寺様の報恩講に出勤。大変上手にお勤めされてました。

16日 シーズン終了

純正、最後の大会で賞をいただいたようです。試合は負けて惜しくも準優勝。来月の中頃に帰省の予定です。



17日 新車の展示会へ

12年乗った今の車もかなりガタが来たので買い替える事に。今の車の新型です。納車まで5カ月待ちとか。



23日 結婚記念日でした

27年になりました。27年前のこの日は大雪でした。ここまで支えてくれた坊守にはただただ感謝ですね。

24日 法話会に25名

講師は明善寺ご住職が担当。終了後、8月に亡くなった叔母の娘さんからお菓子の差し入れとご挨拶がありました。

坊守の独り言

報恩講を終え、11月中旬に実家（明善寺）へ行きました。例年、実家ではお寺の報恩講とは別に鹿谷家としてご近所、親戚をお呼びして報恩講をお勤めしています。



↑鹿谷家の孫さんからプレゼント

今年はこの状況ですので中止しましたが、父（84歳）の姉（86歳）が札幌に引っ越すことになり、送別会と名を変え鹿谷家族と父の姉とでお勤めをして会食をしました。認知症の父は中学2年の孫に「みっちゃん（姉）には世話になった。大学に進学できたのもみっちゃんのおかげだ」と何回も涙声で語っていました。

思えば、私の中学の制服も伯母のお手製で進学、就職の折の保証人も伯母家族で常に鹿谷を支えてくれました。時間の経過を感じながら、年老いていく両親の姿を受け止め子育てから介護へと歩んで行くんだな～と感じました。

最後に、今回主役の伯母は引っ越し先でのお寺参りを楽しみにしているようです。

12/31～1/5、月参りをお休みします。